萬葉集巻第九
三越道之
みこしちの
三越路とハ北國をいふ
越前越中越後なれハみこしちといふハなり

萬葉集巻第十
棚機之五百機立而織布之
たなはたのいほはたたてゝおるぬのゝ
秋去衣誰取見
あきさりころもたれかとりみん
五百の機とはあまたの機といふ

後拾遺和歌集第二十 雑六 釈教
出家の心聖人法花経供養志ける日
人ゝ布施とてとらせける中に
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
諸法実相なれハにほひも仏法なり
[illegible]
維摩経云至博奕戯處輙以度人その文の心なる[illegible]
厭なりとそ